



第58期

報告書

2016.4.1 - 2017.3.31

CONTENTS

- | | | | |
|--|----|----------|-----|
| ● 株主のみなさまへ | 1p | ● 連結財務諸表 | 7p |
| ● トップインタビュー | 2p | ● 個別財務諸表 | 9p |
| センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦します。 | | ● 新商品紹介 | 10p |
| ● トピックス | 4p | ● 株式の状況 | 11p |
| ● 事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結) | 5p | ● ネットワーク | 12p |
| | | ● 会社概要 | 13p |
| | | ● 株主メモ | 14p |

JASDAQ

証券コード：6824



新コスモス電機株式会社

● 株主のみなさまへ



代表取締役会長
重盛 徹志

代表取締役社長
高橋 良典

株主のみなさまにおかれましては、平素から新コスモス電機グループへのあたたかいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

新コスモス電機株式会社は2017年3月10日開催の取締役会におきまして、代表取締役会長に重盛徹志、代表取締役社長に高橋良典が就任する代表取締役の異動を決議し、発表いたしました。

2017年度からは新しい経営体制のもと、昨年11月に発表いたしました「中期経営計画2016-2018」に掲げた経営目標の達成に向け、グループ一丸となって事業に邁進してまいりますので、今後とも引き続き株主のみなさまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長 **重盛 徹志**
代表取締役社長 **高橋 良典**

センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦します。

Q まずは株主のみなさまへ
ご挨拶をお願いします。

A この度、2017年4月1日付で代表取締役社長に就任いたしました高橋です。今後も役員・従業員ひとり一人の個性を活かしながら力を合わせ、新コスモス電機グループの発展を目指して全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

Q それでは、2016年度の業績について説明をお願いします。

A 国内の経済環境は、個人消費は持ち直しの動きが続いており、設備投資も同様の動きがみられ、景気全体としては緩やかな回復基調が続いています。一方で世界に目を向けると政治・経済とも不安定・不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは、家庭用ガス警報器関連や住宅用火災警報器関連、工業用定置式ガス検知警報器関連、業務用携帯型ガス検知器関連といった保安・防災に貢献する機器等から、二オキシセンサ、独自のガスセンサを応用した火災予知、医療分野、室内の空気質検知、さらには省エネルギーに貢献できる機器等の開発などへ、その展開を広げています。

2016年度の当社グループの売上高は、昨年7月からフィガロ技研株式会社をグループ化したことにより、前期と比べ23.0%増の240億6千2百万円となりました。また利益につきましては、経常利益はフィガロ技研株式会社の株式取得や減価償却の増加が

あったものの前期に比べ9.1%増の19億5百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に比べ69.2%増の13億5千1百万円となりました。

Q 海外展開にも動きがありました。

A はい、昨年韓国に100%独資の現地法人「新コスモス電機韓国株式会社(NEW COSMOS ELECTRIC KOREA CO.,LTD.)」を設立しました。当社では2012年11月に韓国に連絡事務所を設立して、現地代理店へのサポートを行ってまいりましたが、中期経営計画の重点課題でもある「海外事業の強化」の一環として、現地法人設立に踏み切りました。これにより競争力の強化とお客さま対応のスピードアップが図れるものと考えており、韓国での売上増大を目指します。

Q コア技術であるガスセンサに関する取り組みや新商品開発について教えてください。

A 2014年に竣工したガスセンサの中核施設である「コスモセンサセンター」は順調に立ち上げが進み、昨年秋に全面移管が完了しました。また、グループ化したフィガロ技研株式会社はガスセンサのトップメーカーであり、ガスセンサの開発・生産でシナジー効果を出していきます。新商品として家庭用の商品では、熱中症と乾燥をおしらせする「快適ウォッチ」シリーズとして、住宅用火災(煙式)・CO警報器タイプを発売しました。LPガ

財務ハイライト(連結)

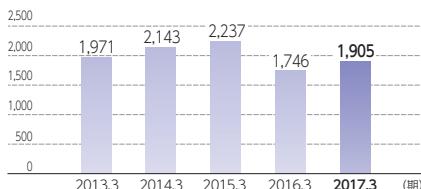
▶ 売上高

(単位:百万円)



▶ 経常利益

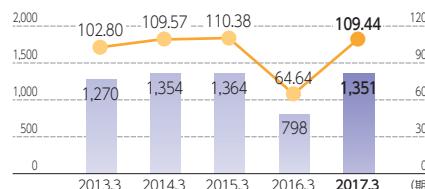
(単位:百万円)



▶ 親会社株主に帰属する当期純利益・一株当たり当期純利益

(単位:百万円)

(単位:円)



ス用警報器でも、業界初の音声警報機能付きの単体型のガス警報器を開発しました。また工業用定置式ガス検知警報器では、国際標準化された工業用無線規格「ISA100.11a」を採用した「無線ガス検知部 KD-100シリーズ」を発売するなど、新しい価値を提案できる商品をお届けできたのではないかと思います。

Q 株主のみなさまへの利益還元についてお聞かせください。

A 当社グループとして、株主のみなさまへの利益還元は、配当性向を考慮し、安定した配当を継続することで行なっていきたいと考えています。配当につきましては当初の予想の通り24円とさせていただきます。

Q 2017年度の見通しを教えてください。

A 今年4月に都市ガスの小売り自由化がスタートし、昨年の電力の自由化、水素など新エネルギーへの取り組みとあわせてエネルギー業界は本格的な変革期に入ったと思っています。また、作業現場における環境管理、省エネルギー対応、スマートハウスやIoTにおけるガスセンサの活用といったさまざまなニーズがあり、社会全体として安全・安心への意識も依然として高いものがあります。

このような環境の中で、ガスセンサを利用した保安機器やガスセンサを応用した機器の開発を行う当社グループといたしまして

は、お客さまのニーズにお応えできる新商品の開発をより一層推し進めていく必要があると考えています。

2017年度の計画は、通期の連結売上高は266億4千万円、経常利益は23億3千2百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は13億6千万円として、事業活動に取り組んでまいります。

Q 最後に株主のみなさまへメッセージをお願いします。

A 昨年11月に発表いたしました中期経営計画の目標を達成し、グループの成長を維持していくことが、社長就任にあたり私に課せられた当面の責務だと思っています。目標達成のため、グループの先頭に立ち、グループの飛躍を目指して挑戦を続け、事業に邁進していきたいと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、今後も当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

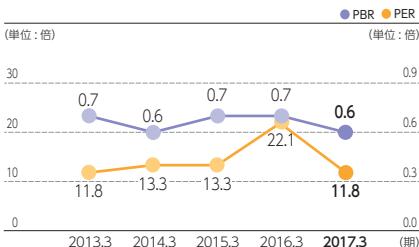


代表取締役社長 高橋 良典

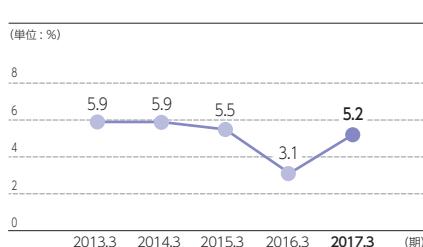
▶ 純資産・総資産



▶ PBR (株価純資産倍率)・PER (株価収益率)



▶ ROE (株主資本利益率)



TOPICS

1

韓国に現地法人「新コスモス電機韓国株式会社」を設立しました

韓国・城南市に100%当社出資の現地法人「新コスモス電機韓国株式会社 (NEW COSMOS ELECTRIC KOREA CO.,LTD.)」を設立し、昨年12月1日より業務を開始しました。

韓国は東アジアにおいて、安定した経済発展を遂げており、特にインターネットとエレクトロニクス業界においては、世界でも有数の企業があり、半導体製造工場など大型の工場も存在します。当社では2012年11月に韓国に連絡事務所を設立。代理店への技術、納期、価格対応、アフターサービス等のサポートを行ってきました。

「新コスモス電機韓国株式会社」は、中期経営計画の重点課題でもある「海外事業の強化」の一環であり、産業用のガス検知警報器、業務用のガス警報器の輸入・販売を行ないます。これにより競争力の強化とお客さま対応のスピードアップを図り、韓国での売上増大を目指します。



TOPICS

2

当社の「火災実験室」の見学者数が1万人を突破しました

当社の火災実験室(本社E棟)の見学者数が、開設12年目の昨年10月に1万人を突破しました。

火災実験室は、住宅の台所を想定した8畳ほどのスペースで、ガス・火災・CO警報器や火災警報器の開発に役立てるため、

またお客さまに火災実験の見学を通して警報器への理解を深めていただく目的で2004年12月に本社E棟に設置いたしました。

火災実験の見学では、布団くん焼火災や天ぷら

火災、たばこの煙や蒸気などによる誤報試験、業務用ゆで麺器によるCO中毒事故の再現などさまざまなシチュエーションを想定した火災等をご覧いただき、警報器の有効性を確認していただきました。

これまでに行政および業界団体、ガス警報器や火災警報器を販売していただいているガス会社、消防関係ならびに消費者団体や社会見学の学生にも多くお越しいたご、「火柱が立つのを初めて見て火災の怖さを実感した」「警報器の必要性を感じた」などのお声をいただいております。

来場者累計1万人への到達は、10月13日にお越しいただいた網干婦人防火クラブ連合会のみなさまで、当日ご見学ご来社の際、記念品を贈呈させていただきました。当社では今後も「火災実験室」により多くの方々に来場していただき、火災警報器の重要性を認知、理解していただけるよう積極的な活動を続けていきます。



事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)

家庭用ガス警報器関連

売上高	前期比
113億1千2百万円	39.2% ↑

事業・商品

ご家庭の台所での万が一のガス漏れ、不完全燃焼を見張るガス警報器。寝室などで煙を感知してお知らせする火災警報器。大切な家族の命や財産を守り、毎日の暮らしに安心をお届けするため、商品のラインナップを充実させていきます。

営業の概況

都市ガス用警報器につきましては、更新需要の増加と警報器用ガスセンサの販売が好調に推移し、売上高は前期を上回りました。LPガス用につきましては、拡販に努めた結果、売上高は前期を上回りました。その結果、家庭用ガス警報器関連の売上高は113億1千2百万円(前期比39.2%増)となりました。



LPガス用ガス警報器

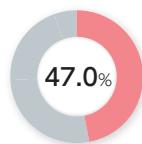


住宅用火災・CO警報器



快適環境おしらせ
住宅用火災・都市ガス・
CO警報器

▶ 売上高構成比



▶ 売上高の推移



工業用定置式ガス検知警報器関連

売上高	前期比
65億7千8百万円	4.0% ↑

事業・商品

ガスタンク、石油化学工場、半導体製造工場、水素ステーションなどでは、ガスの安全管理が不可欠です。お客様のニーズにお応えするため、ガス検知警報器一体型から数千点のガス検知部を持つ大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案・提供しています。

営業の概況

国内の電力業界、半導体業界向けが減少したものの、海外向けガス検知警報器の販売が好調に推移し、売上高は65億7千8百万円(前期比4.0%増)となりました。

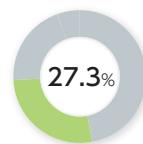


無線ガス検知部

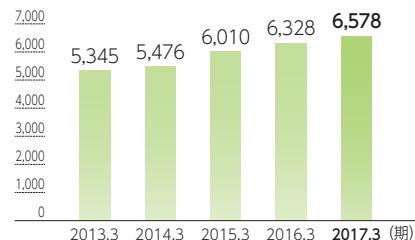


ガス検知警報器

▶ 売上高構成比



▶ 売上高の推移



業務用携帯型ガス検知器関連

売上高

48億4千8百万円

前期比

1.6% ↑

事業・商品

ガス配管からのガス漏れチェック、工事現場でのガス漏れ検知、酸欠・中毒事故防止のために使用される携帯用ガス検知器。作業者のみなさまが使いやすいように小型化・軽量化を目指して開発しています。また、センサユニット交換式など、使いやすさの追求もしています。

営業の概況

都市ガス業界向け可燃性ガス検知器の販売が減少したものの、鉄鋼業界向け一酸化炭素計の販売が好調に推移し、売上高は48億4千8百万円(前期比1.6%増)となりました。



▶ 売上高構成比



▶ 売上高の推移



その他

事業・商品

さまざまなニオイの強弱の測定、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物(VOC)の現場での分析、換気扇の運転を自動でコントロールして、冷暖房の効率化で省エネに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。

▶ 売上高構成比



連結財務諸表

▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	当期 2017年3月31日現在	前期 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	22,323	19,647
現金及び預金	9,038	9,175
受取手形及び売掛金	7,404	6,156
たな卸資産	5,100	4,037
繰延税金資産	298	196
その他	577	170
貸倒引当金	△96	△90
固定資産	14,178	11,895
有形固定資産	7,234	6,558
建物及び構築物	2,585	2,562
機械装置及び運搬具	813	490
土地	3,149	2,881
建設仮勘定	159	161
その他	526	461
無形固定資産	2,263	439
投資その他の資産	4,679	4,896
投資有価証券	3,121	4,204
繰延税金資産	75	58
その他	1,485	635
貸倒引当金	△3	△1
資産合計	36,501	31,542

科目	当期 2017年3月31日現在	前期 2016年3月31日現在
負債の部		
流動負債	5,833	4,648
支払手形及び買掛金	3,194	2,725
短期借入金	150	—
1年内返済予定の長期借入金	210	—
未払法人税等	498	206
賞与引当金	450	354
製品保証引当金	123	123
その他	1,206	1,238
固定負債	2,668	1,223
長期借入金	1,317	—
退職給付に係る負債	973	956
役員退職慰労引当金	272	190
その他	105	76
負債合計	8,501	5,872
純資産の部		
株主資本	25,655	24,601
資本金	1,460	1,460
資本剰余金	933	934
利益剰余金	23,547	22,492
自己株式	△285	△285
その他の包括利益累計額	938	950
その他有価証券評価差額金	827	811
為替換算調整勘定	83	100
退職給付に係る調整累計額	27	37
非支配株主持分	1,405	119
純資産合計	27,999	25,670
負債純資産合計	36,501	31,542

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	24,062	19,555
売上原価	13,629	10,506
売上総利益	10,433	9,049
販売費及び一般管理費	8,688	7,398
営業利益	1,745	1,651
営業外収益	174	119
受取利息及び配当金	63	62
その他	110	56
営業外費用	14	24
経常利益	1,905	1,746
特別利益	234	0
特別損失	4	360
税金等調整前当期純利益	2,136	1,386
法人税、住民税及び事業税	706	476
法人税等調整額	△41	103
当期純利益	1,471	805
非支配株主に帰属する当期純利益	119	6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,351	798

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2016年4月1日から 2017年3月31日まで	2015年4月1日から 2016年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	1,872	1,414
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,052	△1,093
財務活動による キャッシュ・フロー	1,093	△297
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△38	△33
現金及び現金同等物の 増減額	△124	△9
現金及び現金同等物の 期首残高	8,876	8,886
現金及び現金同等物の 期末残高	8,751	8,876

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2017年3月31日現在	前期 2016年3月31日現在
資産の部		
流動資産	14,542	15,644
固定資産	14,355	11,288
有形固定資産	5,664	6,002
無形固定資産	291	429
投資その他の資産	8,400	4,855
資産合計	28,897	26,932
負債の部		
流動負債	4,830	4,763
固定負債	2,286	1,003
負債合計	7,117	5,767
純資産の部		
株主資本	20,955	20,353
資本金	1,460	1,460
資本剰余金	934	934
利益剰余金	18,846	18,245
自己株式	△285	△285
評価・換算差額等	825	811
その他有価証券評価差額金	825	811
純資産合計	21,780	21,165
負債純資産合計	28,897	26,932

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

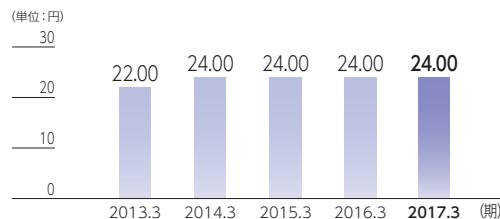
▶ 個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	前期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	19,866	19,653
売上原価	13,060	12,701
売上総利益	6,805	6,951
販売費及び一般管理費	5,990	6,033
営業利益	815	918
営業外収益	168	205
営業外費用	18	16
経常利益	965	1,106
特別利益	235	—
特別損失	3	355
税引前当期純利益	1,197	751
法人税、住民税及び事業税	293	213
法人税等調整額	6	101
当期純利益	898	437

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 配当金推移表



期末配当金

2017年3月期の期末配当金につきましては1株当たり24円とさせていただきます。

火災・CO検知に加え、熱中症と乾燥をお知らせする火災警報器「快適環境おしらせ住宅用火災(煙式)・CO警報器」を開発しました。



消防白書(平成27年度版)によると、建物火災における死者の約4割が、火災発生に伴うCO(一酸化炭素)中毒が原因で死亡しています。火災の中には、布団くん焼火災など炎や煙が発生する前にCOが発生するものがあり、このようなことから当社では2008年にCO警報機能付き住宅用火災警報器を開発し、普及に努めてきました。

また、当社では、温度と湿度を監視することで夏は熱中症、冬はインフルエンザにかかりやすい環境をお知らせする、まったく新しいタイプのガス警

報器「快適ウォッチ」シリーズの販売を昨年開始し、好評をいただいています。

この度開発した、「住宅用火災(煙式)・CO警報器 快適ウォッチ SC-715T」はCO警報機能付きの住宅用火災警報器に、この熱中症や乾燥をお知らせする快適環境おしらせ機能を搭載したこれまでにない新しい火災警報器です。

2006年に消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置がすべての住宅で義務化されてから10年が経過し、多くの住宅用火災警報器が交換の目安をむかえます。取り換えとあわせ、新たな機能が加わった住宅用火災警報器のPRを積極的に行なっていきます。

地下駐車場換気装置用COセンサを開発しました。



ビル等建物の地下駐車場は、駐車場法で直接外気と空気の交換を行なう換気装置の設置が義務付けられています。一方、近年建物における省エネ・節電対策が進められており、照明や空調などに続く削減可能な項目が探されていました。

今回開発した「地下駐車場換気装置用COセンサ KS-7DU」は、地下駐車場専用のCOセンサ。地下駐車場内をCOセンサで監視し、CO濃度によって換気装置を自動運転します。当社による実験では換気による消費電力量を最大約90%削減、的確な換気と省エネを実現します。

排水中の有機汚濁物質をリアルタイム監視する「有機汚濁モニタ VOP-819」を開発しました。

プラントから出る排水は排水処理設備によって浄化され、雨水や冷却水とともに一般排水として流れ出ます。プラント内では法規制を守るため、さまざまな計測器が排水や排水処理設備を監視しています。しかし現在使用されている一般的な計測器では、数十分に一度しか測定できないため、対応が遅れてしまう可能性があります。今回、三菱化学株式会社と共同開発した「有機汚濁モニタ VOP-819」は排水中より揮発する各有機化合物をリアルタイムに監視。水質汚濁防止法の規制物質の多くを幅広く検知することができ、水質汚濁事故の未然防止につながります。

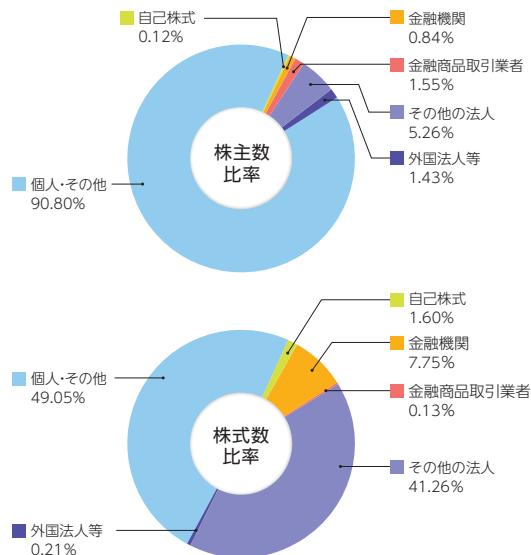


▶ 株式の状況 (2017年3月31日現在)

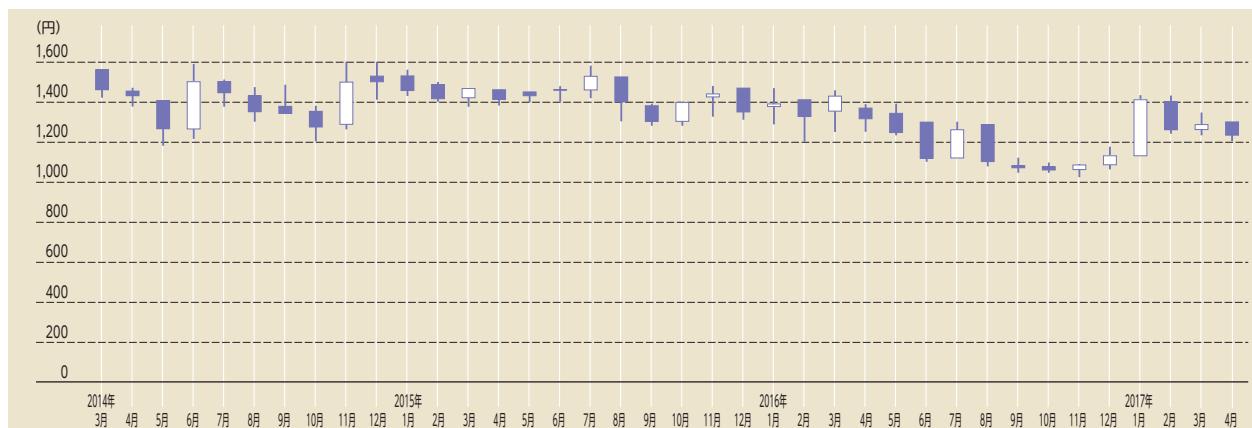
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 12,561,000株
 株主数 837名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
岩谷産業株式会社	2,601(千株)	21.05(%)
有限会社アール・ケイ	572	4.63
新コスモス電機取引先持株会	503	4.08
柴田 芳市	502	4.06
新コスモス電機従業員持株会	480	3.89
笠原 美都子	475	3.85
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.11
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	348	2.82

(注) 1. 持株比率は自己株式(200,890株)を控除して計算しております。
 2. 発行済株式の総数には自己株式(200,890株)を含んでおります。



▶ 株価の推移



▶ 事業所 (2017年6月29日現在)

- 本社・西日本支社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4
TEL.(06)6308-3112
- コスモスセンサセンター 〒673-1111 兵庫県三木市吉川町上荒川748-7
TEL.(0794)72-2033
- 東日本支社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2
浜松町262ビル TEL.(03)5403-0511
- 中部支社 〒460-0004 名古屋市中区新栄町2-4
坂種栄ビル7F TEL.(052)951-2650
2017年5月15日に上記住所へ移転しました。
- 札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北五条西6-2-2
札幌センタービル TEL.(011)231-1101
- 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-7
ティエヌビルディング TEL.(022)295-6061
- 新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-201
ファースト米山 TEL.(025)365-1390
- 静岡営業所 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
三井生命静岡駅前ビル2F TEL.(054)255-1901
- 北陸営業所 〒920-0065 金沢市ニツ屋町8-1
アーバンユースフルビル
TEL.(076)234-5611
- 岡山営業所 〒710-0826 倉敷市老松町2-7-4
倉敷ビル5F TEL.(086)435-5087
- 広島営業所 〒732-0827 広島市南区稻荷町2-16
広島稲荷町第一生命ビル
TEL.(082)568-2800
- 九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1
NORITZビル
TEL.(092)431-1881
- 北関東出張所 TEL.(048)643-1223
- 千葉出張所 TEL.(043)209-1650
- 神奈川出張所 TEL.(045)473-6451
- 京滋出張所 TEL.(077)526-8222
- 姫路出張所 TEL.(079)225-8965
- 海外事務所 台湾事務所
シンガポール事務所

▶ 主な関係会社 (2017年6月29日現在)

- 新コスモス電機メンテナンス株式会社
- コスモスサービス株式会社
- イズム電機株式会社
- フィガロ技研株式会社
- 新考思莫施電子(上海)有限公司
- NEW COSMOS - BIE B.V.(オランダ)
- NEW COSMOS ELECTRIC KOREA CO.,LTD.(韓国)



▶ 会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	新コスモス電機株式会社
設立	1960年6月15日
資本金	1,460百万円
従業員数	422名
主要商品	家庭用ガス警報器 LPガス警報器／都市ガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器／ LPガス集中監視システム 等 工業用定置式ガス検知警報器 各種ガス検知警報器／総合ガス保安管理システム／電力線搬送方式ガス漏洩 監視システム／シールド工事用ガス監視システム 等 業務用携帯型ガス検知器 可燃性ガス検知器／毒性ガス検知器／酸素濃度計／複合型ガス検知器 等 その他 二オイセンサ／空気質検知 等

ホームページのご案内

当社に関する情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。ぜひ一度アクセスください。



<https://www.new-cosmos.co.jp/>

▶ 役員 (2017年6月29日現在)

代表取締役会長	重盛徹志
代表取締役社長	高橋良典
取締役副社長執行役員	松原義幸
取締役常務執行役員	飯森龍
取締役常務執行役員	相川勝之助
取締役上席執行役員	金井隆生
取締役上席執行役員	竹内徹
取締役上席執行役員	池田俊雄
取締役上席執行役員	服部雅夫
取締役	天本太郎
社外取締役	手島肇
常勤監査役	池上久雄
社外監査役	山岸和彦
社外監査役	柳澤有廣

▶ 執行役員 (2017年6月29日現在)

執行役員	海外営業本部海外計画推進部長	山下栄二
執行役員	センサ本部長	中谷幹哉
執行役員	海外営業本部第一営業部長	王宏仁
執行役員	インダストリー営業本部 営業開発部長	岩見知明
執行役員	品質管理本部長	前川芳郎
執行役員	インダストリー営業本部 西日本営業部長 兼 西日本支社長	安本哲也
執行役員	技術開発本部長補佐	長井孝行
執行役員	管理本部副本部長 兼 経理財務部長	村田泰造

見通しに関する注意事項

本報告書に記載している将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

株主メモ

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777(通話料無料)
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公告掲載新聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス https://www.new-cosmos.co.jp/ir/earning/

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。

なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



新コスモス電機株式会社

当社では、株主のみなさまの声を聞かせたいため、アンケートを実施いたしますが、お手数ではございますが、アンケートへのご協力を願います。



株主のみなさまの声を聞かせください

株主さま向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
6824

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



みんなでシェアして、低炭素社会へ。

新コスモス電機株式会社は、Fun to Shareに賛同しています。